

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 市場2部 (コード6655)
公告掲載新聞	日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



最新の製品情報やIR情報などを分かりやすく掲載しています。

<http://www.toyo-elec.co.jp/>

東洋電機

検索



お問合せ先

東洋電機株式会社

〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
TEL.0568-88-1700 FAX.0568-88-0701

この報告書は植物油インキを使用しております



TOYO ELECTRIC CORPORATION



第75期 上半期報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

目次

トップインタビュー

**外部に目を向け、
新しい東洋電機の姿を探る。p1**

TOYOのものづくり

太陽光発電用LED表示器 p4

セグメント別概況 p5 連結決算概要 p7

社員インタビュー p9 トピックス p9

会社概要／株式状況 p10



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード：6655

外部に目を向け、新

Q アベノミクス以降、景況感に変化は見られますか。

A 円安メリットを受ける自動車関連などとは異なり、景況感が好転したという実感には至っていません。当社の場合、輸出はせいぜい10~15%です。国内の設備投資が動き出せば好転する可能性があります。上期の業績は、前年同期並みかそれをやや下回る感じです。当社の業績はもともと下期追い込み型という特性があり、下期に向けて全力を傾注したいと考えています。

Q 主要なセグメントの動きをお聞かせください。

A 国内制御装置関連事業は、エンジニアリング部門で印刷関連と鉄道関連は増え堅調に推移しました。一方、配電盤・制御盤は引き続き減少が続きました。ただ、収益性の高いものが売れ、収益面の改善に貢献しました。

機器部門は、主力のエレベータ関連で大手エレベータメーカーが生産を手控えた影響で、ドア開閉確認用センサやかご位置確認用センサなどの出荷が減少しました。8月に入ってようやく持ち直しつつあります。空間光伝送装置は、依然厳しい状況が続いています。太陽光関連の発電表示器は、新エネルギー関連市場向けに順調に伸びました。

変圧器部門は、前年同期比では伸びていますが、依然として東京市場での苦戦が課題となっております。

海外制御装置関連事業は、南京華洋電気有限公司が製造・販売するエレベータ用センサが中国市場内で順調に拡大しました。中国のエレベータメーカーも価格重視から安全・品質重視にシフトしつつあります。一方盤部門は、中国国内の市況不透明により大幅に低迷いたしました。

樹脂関連事業は、エコカー補助金制度に伴う需要の減少

日頃より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。今、東洋電機は国内の市場開拓と海外の拡販に全力を挙げて取り組んでいます。未だ道半ばではありますが、必ず成果に結びつけ、数年先には大きな実りが収穫できるものと確信しています。私どもはこれからも役員・従業員が一丸となって、新たな挑戦を続けてまいります。株主の皆様には引き続きお引き立ていただきますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

松尾 昇光

しい東洋電機の姿を探る。

により、売上は減少しましたが、自動車の軽量化の動きによりコンパウンド事業が堅調に推移しました。カーボンナノチューブや炭素繊維強化プラスチックを使った新しい製品づくりに引き続き挑んでおります。

Q 最近では外部のイベントにも積極的に参加されていますが、どのような狙いからでしょうか。

A 「セキュリティショー」「電設工業展」「CEATEC」「フロンティア21エレクトロニクスショー」のほか、IRをテーマとした「名証IRエキスポ」などにも出展しました。知名度を上げることに加えて、展示会の機会をとらえて外部の企業と協業できるチャンスが生まれればと考えています。こうしたご縁から、ある大手材料メーカーさんから「一緒にコラボしよう」というお話しもいただきました。

展示会に参加すると同業他社や異業種の動きも分かります。若手に参加してもらい、新しい動きに目を開ききっかけになればと考えています。

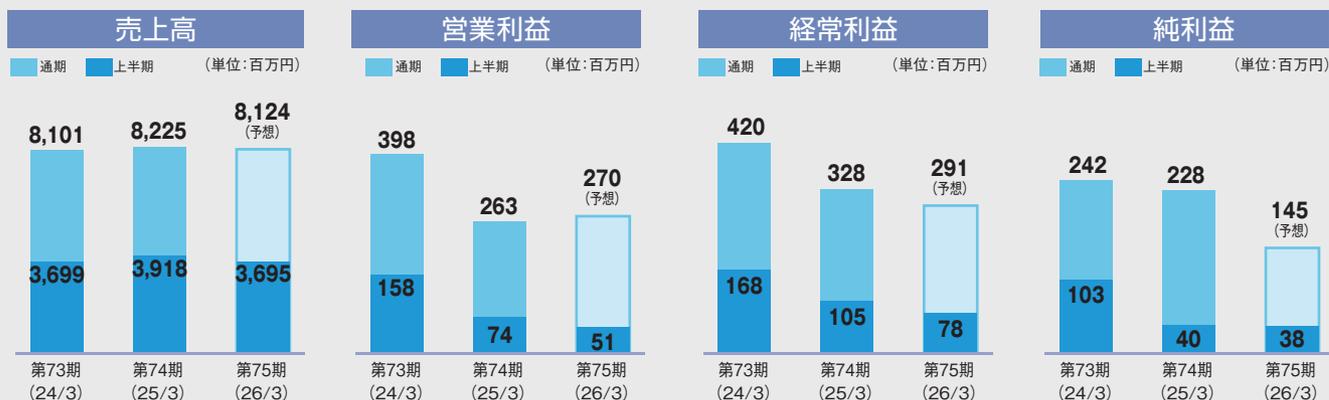
Q 無線センサネットワーク「MAGIC BEE」や太陽光発電関連でも新製品の動きが加速していますね。

A 広域無線の技術をベースに開発を進めてきましたが、9月から「MAGIC BEE」という製品名で発売がスタートしました。ビル施設や農地などの環境モニタリング、輸送過程の安全品質トレーサビリティの確認にも利用できる便利な製品です。放射線のモニタリングにも活用できるはずで、9月には営業・製造・開発のスタッフも参加した社長直轄のプロジェクトとして立ち上げ、異業種の大手企業との販売提携も進んでいます。今期中に1,000台を販売する計画です。

また、市場はますます環境への配慮が高まりつつあります。当該変圧器が手掛けるアモルフラス乾式変圧器は、その市場に対応できる製品です。価格こそ高いものの、ランニングコストを加味すると3~4年で導入費用を回収できる特徴を持っています。太陽光発電関連の系統連系用変圧器、地域防災無線タイプ耐雷変圧器、始動リアクトルも動き始めています。

楽しみなものに水中可視光通信装置があります。水中で

決算ハイライト



トップインタビュー



映像・音声・制御信号を送れるというものです。現在開発中ですが、その技術応用の幅は広いものと期待しております。

Q 株主様も大きな期待をするはずですよ。あらためて今後に向けた決意のほどをお聞かせください。

A 本年2月に発足したタイ王国子会社をなんとしても軌道に乗せなければなりません。中国子会社が製造・販売するエレベータセンサを経済が好調なタイ王国内のエレベータメーカーに販売する道筋をつけ、将来的にはFA装置の製造・販売も視野に入れています。中国とタイ王国2つの子会社の連携で、やがてはアジア・中東に足がかりをつけたいと考えています。東洋電機が一から海外子

会社をつくるのは初の経験です。将来の布石としても貴重なノウハウになるはずですよ。

社長就任からおよそ2年が経過しました。これからの経営のあり方を探るため、あらゆる動きにアンテナを張って情報収集に努めてきましたが、そろそろメリハリをつけた取り組みをしなければならないと考えています。

株主様の関心は足元の業績にあることは十分承知しています。ただ、足元だけに目を奪われると目先の改善にとらわれ、将来を見据えた取り組みがおろそかになります。大きな将来を切り開くためには、せめて5年先を見据えた果敢な取り組みが必要です。なにとぞ、今しばらくの猶予とともに、ご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

通期の見通し

売上高	8,124百万円	前期比 1.2%減
営業利益	270百万円	前期比 2.5%増
経常利益	291百万円	前期比 11.3%減
当期純利益	145百万円	前期比 36.4%減

決算ハイライト

1株当たり純利益



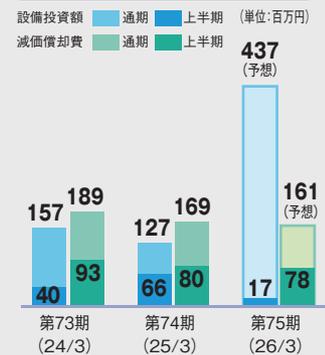
1株当たり純資産額(BPS)



株主資本利益率(ROE)/総資産経常利益率(ROA)



設備投資額/減価償却費



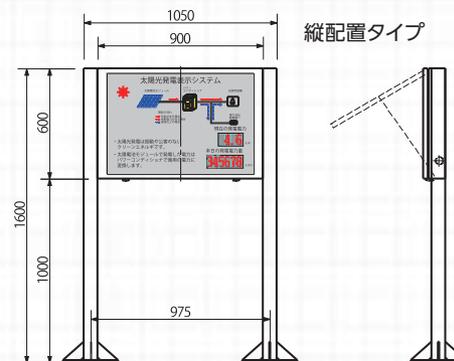
低炭素社会に向けたエコ活動の啓蒙に当社の表示器が活用されています。

太陽光発電は、家庭用の小規模システムから工業用の大規模システムまで広く普及しています。当社のLED表示器は、大規模な太陽光発電所の発電情報を、地域の方々に広く知っていただくために役立っています。



太陽光発電表示器 の特徴

- 高輝度LEDの採用で昼間でもよく見えます。
- 屋外設置ができます。
- 薄型で設置スペースが少なくできます。
- 表示情報はカスタマイズできます。
- 表示色は3色に切り替えます。
- 標準仕様の場合は導入コストを節約できます。
- デザインのカスタマイズにもお応えします。



太陽光発電関連商品 のご紹介

● 低圧絶縁変圧器



● 無線式モニタリングシステム MAGIC BEE



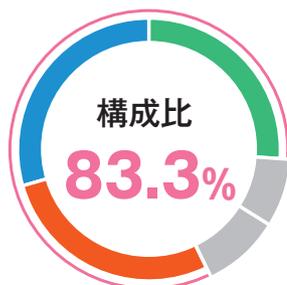
セグメント別概況

(平成25年9月期)

I. 国内制御装置関連事業

売上高 **3,079** 百万円
前年同期比 3.8%減

国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開しております。当事業は3部門から構成されており、その内、変圧器部門は新エネルギー関連市場向けの需要が伸長したことなどにより増加しましたが、エンジニアリング部門ならびに機器部門が減少したことにより、売上高は3,079百万円(前年同期比3.8%減)となりました。



内 訳



エンジニアリング部門



機器部門



変圧器部門

エンジニアリング部門 売上高 **1,087** 百万円 前年同期比 15.4%減

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、印刷制御装置分野は増加したものの、配電盤分野が大幅に減少したことなどにより、売上高は1,087百万円(前年同期比15.4%減)となりました。

売上高推移



鉄道関連製品「無人駅高声電話機」

主な主要製品

- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー(IPR)
- 省配線型搬送コントローラ(MRC)
- 宛名紙印刷搭載機

機器部門

売上高 **1,018** 百万円 前年同期比 3.9%減

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、新エネルギー関連設備向けなど表示器分野が増加したものの、エレベータ関連センサの在庫調整による減少などセンサ分野が不調だったことにより、売上高は1,018百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

売上高推移



空間光伝送装置

主な主要製品

- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器
- 交流電力調整器
- 情報表示器

変圧器部門

売上高 **973** 百万円 前年同期比 13.7%増

変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業は、新エネルギー関連市場向け乾式変圧器ならびに受配電用乾式変圧器の需要が伸長したことにより、売上高は973百万円(前年同期比13.7%増)となりました。

売上高推移



乾式変圧器 TKHⅢシリーズ

主な主要製品

- 乾式変圧器
- 耐雷変圧器
- モールド変圧器
- 始動リアクトル

II. 海外制御装置関連事業

売上高 **282** 百万円
前年同期比 16.7%減



海外制御装置関連事業は、中国南京市にある当社グループの海外企業が、事業を展開しております。当事業は、当社が培ってきた技術や生産ノウハウを基盤に、南京市における優良盤メーカーとして事業展開する盤部門と国内制御装置関連事業の内、機器部門におけるエレベータ関連センサの生産販売を手掛ける電子部門の2部門から構成されております。電子部門の売上高は、中国国内へのエレベータセンサの販売が順調に推移したことにより増加しましたが、盤部門は日系企業ならびに中国企業向けの受配電盤が低迷したことにより大幅に減少し、当事業の売上高は282百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

なお、当事業と国内制御装置関連事業における機器部門とは、日本向けエレベータセンサなどの製品群において進料加工生産を行っております。

また平成25年2月26日付で設立した子会社は、現在タイ王国アマタ・ナコーン工業団地内（バンコクから東へ60km程度）に、新工場を建設中であります。

売上高推移



主な主要製品

- 盤部門
高圧受配電盤
コントロールセンタ
PLC応用制御盤
- 電子部門
マルチビームセンサ
かご位置確認用センサ

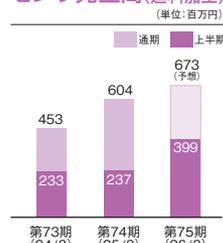


C型コントロールセンタ

電子部門の現地生産 現地販売 売上高



センサ売上高(進料加工)



エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」

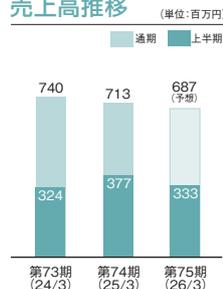
III. 樹脂関連事業

売上高 **333** 百万円
前年同期比 11.7%減



樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂(株)が展開している樹脂リサイクル事業です。当事業は、前年半ばまでのエコカー補助金制度に伴う需要が剥落したことなどにより、売上高は333百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

売上高推移



主な主要製品

- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産
- 車止め
- 防護柵



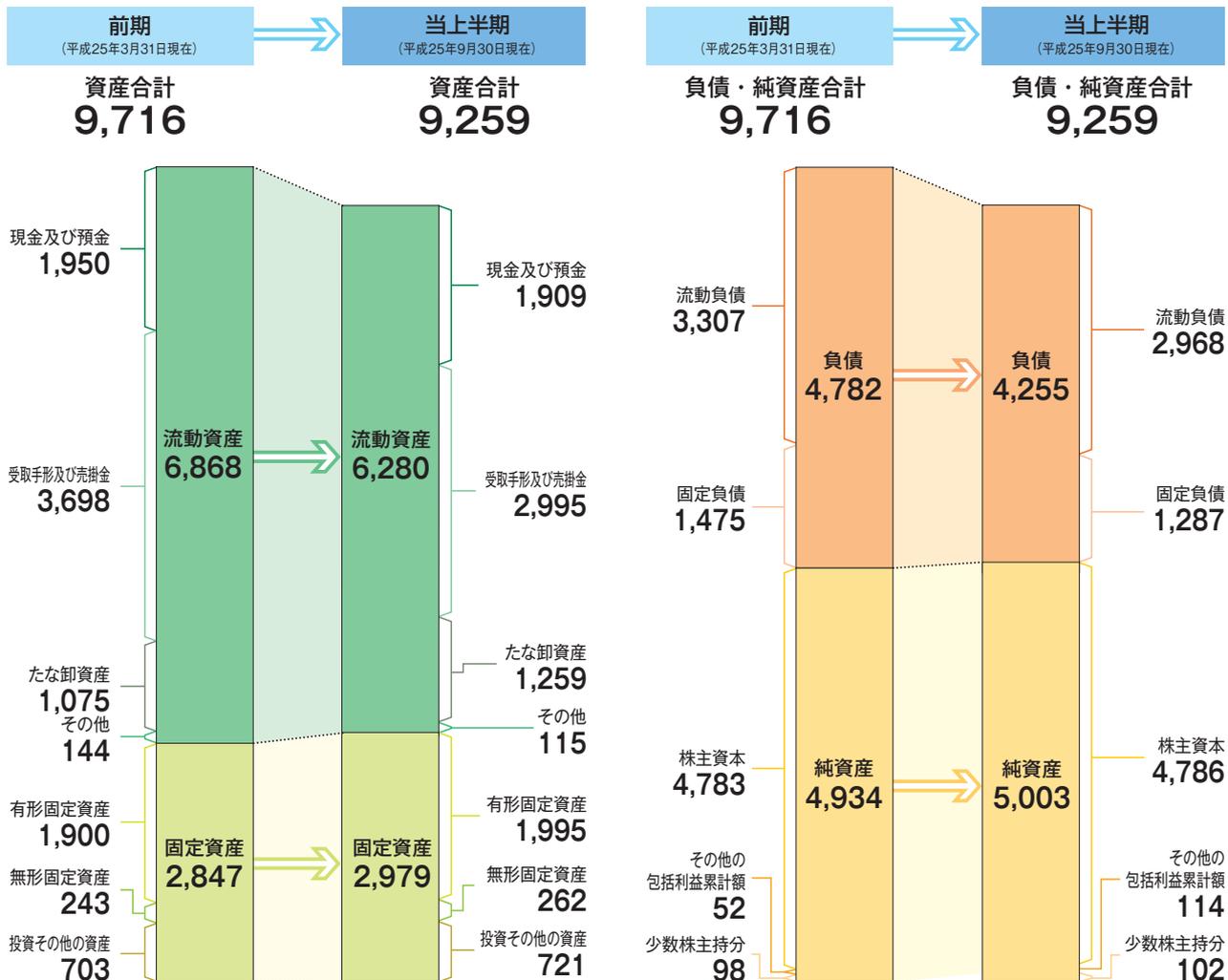
樹脂ペレット



防護柵「ガードパイプ」

連結決算概要

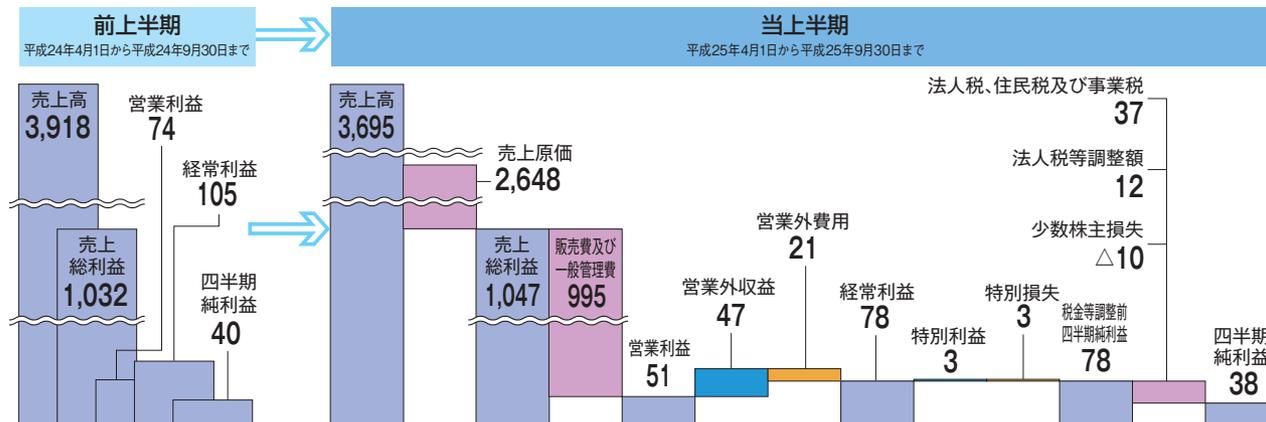
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



POINT

総資産は、主にたな卸資産は増加したものの、受取手形及び売掛金など流動資産が減少したことなどにより前期末比457百万円の減少となり、負債は、主に支払手形及び買掛金、未払法人税など流動負債が減少したことにより前期末比526百万円の減少となりました。なお当上半期の純資産は、主に為替換算調整勘定の増加などにより69百万円増加しました。

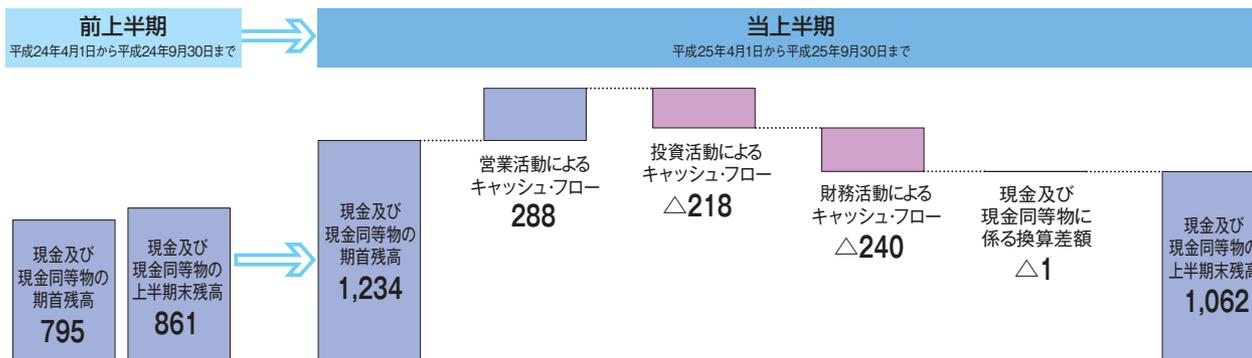
連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



POINT

当上半期の売上高は、既存顧客に係る新規深耕開拓の促進等、積極的な受注活動に取り組んだものの、国内制御装置関連事業に係るエンジニアリング部門および海外制御装置関連事業が不調だったことなどにより5.7%減収となりました。利益面では、売上高の減少ならびに技術研究費など販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、営業利益、経常利益、四半期純利益は、減益となりました。

連結キャッシュ・フローの概要 (単位:百万円)



POINT

当上半期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ172百万円減少し1,062百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は、売上債権の減少および税引前四半期純利益などにより288百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、定期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出などにより218百万円となりました。財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出などにより240百万円となりました。

社員インタビュー

モノづくりを “縁の下”で支える

事業本部 神屋二工場
管理二部 資材課 係長 清水真紀

機器部門の資材窓口を担当して19年になります。資材は目立たない仕事ですが、ミスの許されない部署。発注数量の誤りに気づいて仕入れ先に頭を下げ、納期セーフという経験もあります。

今では登録1万点以上にのぼる主要部品コードと仕入れ先コードの大部分を記憶し、130~140社の仕入れ先と連日厳しい交渉をする毎日。社内との打ち合わせ、電話での応対もあり、あわただしく一日が過ぎていきます。資材の購入は価格だけで決まるわけではありません。仕入れ先の協力度や担当者の熱意なども大切な要素です。ただ、安いからと購入して製品に不具合が出たり、長続きしないのでは元も子もありませんから……。人間同士の交渉ですから、信頼関係が大切な要素になります。

この4月、係長に昇進しました。女性初ですが、振り返ると決して順風満帆だったわけではありません。配属当初、女性はあくまでも男性の補佐役で、伝票の入力と電話をとるのが仕事でした。偶然加わった交渉で“使える”との評



価を得たのか、次第に交渉も任されるようになりました。初めは名刺もありませんでした。名刺をもらってもこちらが出せないもどかしさを幾度も経験しました。上司に頼み込んで名刺をつくってもらい、ようやく認めてもらえたような気持ちになったものです。先日、仕入れ先の上司の方が見えて、初めて係長の名刺を出しました。いつもの仕入れ先担当者も名刺の肩書に気づかれたようでした。

私生活では結婚して一年半。仕事と家庭を両立するのは大変ですが、忙しいのが好きな性分だけに、仕事は続けていきたいと考えています。そして、できれば子育ても……。子育てで一回り大きくなれば、会社のお役に立ってほずです。

トピックス

第75期 上半期のトピックスをご紹介します。

タイ・トーヨーの現況報告



本年2月26日に、タイ王国バンコク都にThai Toyo Electric Co.,Ltd.を設立しました。同年7月9日に地鎮祭が行われ、現在建物を建設しています。
工場建設地：アマタ・ナコーン工業団地フェーズ7地内

地鎮祭(写真左)と建物完成予想図

会社概要/株式状況

(平成25年9月30日現在)

▶ 会社の概況

商号	東洋電機株式会社
設立	1947年(昭和22年)7月
資本金	10億3,708万円
本社所在地 (登記上)	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
本社事務所	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
営業部	東京、名古屋、大阪
関係会社	東洋樹脂株式会社 (愛知県小牧市) 東洋電機ファシリティーサービス株式会社 (愛知県春日井市) 東洋板金製造株式会社 (愛知県春日井市) 南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市) Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国バンコク都)
主要取引銀行	百五銀行、商工中金、三井住友銀行、 名古屋銀行
従業員数	225名(連結518名)

▶ 役員

代表取締役会長	松尾隆徳
代表取締役社長	松尾昇光
専務取締役	間瀬美行 事業本部長
取締役	松村和成 事業本部長付兼南京華洋電気有限公司董事
取締役	丹羽基泰 事業本部春日井工場長
取締役	加藤信 管理本部長
取締役	清水純一 事業本部神屋二工場長
常勤監査役	森正一
監査役	有賀重介
監査役	葛谷昌浩

(注)監査役有賀重介および葛谷昌浩の各氏は、社外監査役であります。

▶ 株式の状況

発行可能株式総数	18,000,000株(普通株式)
発行済株式の総数	9,388,950株 (自己株式775,724株を含む)
株主数	616名

▶ 大株主

株主名	持株数	持株比率
松尾隆徳	897千株	10.41%
東洋電機従業員持株会	630千株	7.32%
東洋電機取引先持株会	469千株	5.44%
株式会社商工組合中央金庫	465千株	5.39%
株式会社百五銀行	428千株	4.96%
有限会社城西	375千株	4.35%
トーヨーテクノ株式会社	289千株	3.36%
松尾昇光	252千株	2.92%
日本生命保険相互会社	250千株	2.90%
第一生命保険株式会社	250千株	2.90%

(注)持株比率については、自己株式(775,724株)を控除して算出しております。

▶ 株式分布状況

